

水稻の初中期管理

～適切な管理で収量・品質の向上を目指しましょう！～

香川県西讃農業改良普及センター（R7.6）

1. 田植え

○適切な植付の目安

- ①栽植密度：15～19株/m²
(株間：18～22cm)
- ②植付本数：3～4本/株
- ③植付深度：2～3cm

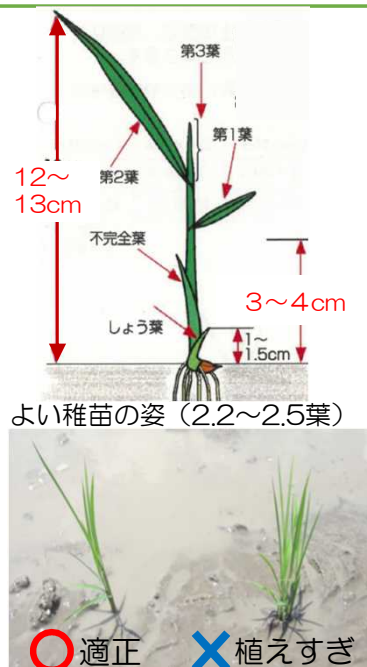
◎植付前に田植機の設定を確認しましょう！

○箱処理剤の施用（※いずれかを使用）

使用時期	薬剤名	使用量	使用回数
播種時（覆土前） ～移植当日	い ず れ か Eパ-ゴ-ル [®] ス 箱粒剤	50g/ 箱	1回
移植3日前 ～移植当日	ビ-ルダ-フィルテラ [®] ス GT粒剤		

- ①苗箱へ規定量を均一に施用する。
- ②苗に薬剤が付着した場合は、払い落とす。

◎病害虫被害軽減のために必ず使用しましょう！



2. 初中期除草剤

除草剤は使用方法を守って適切に使用しましょう！
(※いずれかを使用)

使用時期	薬剤名	10a当たり使用量	使用回数
移植直後～11日	い ず れ か カチボシフロアブル	500ml	1回
移植直後～9日	ラオウジャンボ	25g×10個	
移植時または移植直後～9日	ジェイソウル1キロ粒剤	1kg	

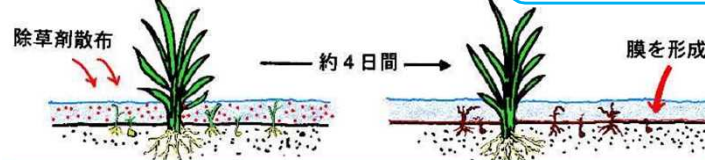
○使用時の注意点

- ・補植は除草剤散布前に実施しましょう。
- ・ほ場全体に薬剤を拡散させるため、**深水(5～7cm)**で施用し、**施用後3～4日間は湛水状態**を保ってください。
- ・強風時や藻類が表面を覆っている場合は、ジャンボ剤の施用を控えましょう。



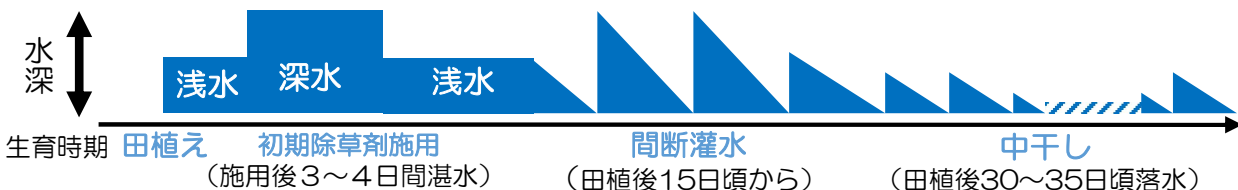
藻類の発生

○初期除草剤のメカニズムについて



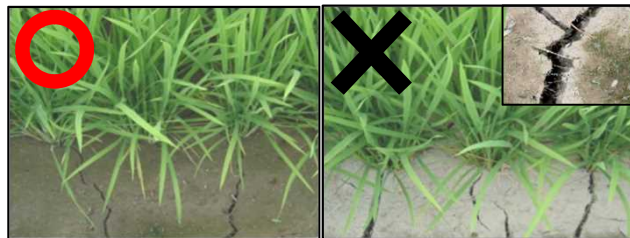
初中期除草剤は、水に溶けた後に**土壌表面で処理層を形成すること**で効果を発揮します。

3. 水管理



○水の溜めすぎにより以下の症状が現れた時は、落水して根の傷みを回復させましょう。

○過度な中干しは根を傷める原因になります。亀裂幅が1cmを超える場合は走り水をしましょう。



4. ジャンボタニシ対策

○ジャンボタニシの発生ほ場では、移植直後から食害が発生します。

○対策のポイント

- ・取水口に9mm目合いのネットを設置する。
- ・発生の多いほ場では、本田防除剤を移植直後に施用する。
- ・初期除草剤の施用4日後～移植後3週間は浅水（1cm程度）で管理する。



ジャンボタニシ



被害の様子



水口ネットの設置

水稻の生産維持・拡大にご協力ください！

シートベルト・ヘルメット等を着用し、農作業事故を防止しましょう！

麦わらすき込みや浅水代かきを行い、環境に優しい農業を実施しましょう！